

## 令和2年度 入域料事業報告

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により登山者数の減少が懸念されたが、笹ヶ峰登山口における入込は令和元年度 10,722 人対し、令和2年度 11,484 人と微増であり、例年並みの活動となった。

### 1 実施内容

- (1) 収受個所 ①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口
- (2) 収受期間 令和2年7月1日(水)から10月31日(土)まで
- (3) 収受方法
  - ①笹ヶ峰登山口
    - ・土日祝日及びお盆期間の午前5時から10時までは収受員を配置
    - ・上記以外の時間は、協力金箱による収受活動
  - ②燕温泉登山口
    - ・終日協力金箱による収受活動
    - ・現地掲示物管理及び協力者記念品配布のため、地元事業所に管理委託
- (4) 金額 500円(任意) 令和2年度収受額 3,983,861円

### 2 入域料充当事業

- (1) ライチョウ保護対策事業  
妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務  
決算額：968,825円  
受託者：一般財団法人上越環境科学センター  
箇所：ライチョウ平  
内容：①センサーカメラ調査(7月～11月)  
②環境改善事業(イネ科除去)  
③ライチョウ捕食者に係る糞調査(笹ヶ峰登山口から影火打)
- (2) 登山道整備事業  
妙高山・火打山地域における登山道整備事業  
決算額：0円(未執行額910,000円は令和3年度へ繰越)

### 3 その他

- (1) 妙高ツーリズムマネジメントとの連携により、入域料協力者が観光施設等で割引特典(例：入浴割引など)を受けることができる取組を実施(協力：18店舗)
- (2) 登山口における携帯トイレ販売の開始と、オオシラビソ林に携帯トイレブースの設置
- (3) 登山口においてスマートフォンを活用した登山保険加入の仕組みの導入